

2025年9月期第2四半期 決算説明資料

株式会社キャリア（証券コード：6198）



CAREER

これからの社会に新しいライフスタイルを。

01		事業概要
02		2025年9月期第2四半期決算概要
03		市場環境及び成長戦略
04		Appendix

会社情報		経営陣※2		財務指標	
設立	2009年	代表取締役会長兼社長	川嶋 一郎	売上高※3	167.0億円
従業員数※1	317名	取締役	蒲原 翔太	営業利益※3	4.2億円
		取締役	竹上 雅彦		
		取締役	池田 脩太郎		
		社外取締役(監査等委員)	岩見 和磨		
		社外取締役(監査等委員)	舘 充保		
株式会社キャリア:252名		社外取締役(監査等委員)	山本 和成	売上高CAGR※4	16.7%
連結子会社: 65名					

※1： 2024年9月30日実績（臨時雇用者は含まない）

※2： 2025年3月31日現在

※3： 2024年9月期実績

※4： 2019年9月期から2024年9月期の年平均成長率



高齢化社会のなかで、すべての人々が仕事を通じて社会に貢献し、
生きがいを見つけることのできる世の中の実現を目指します。

我々はあらゆる判断、行動においてこれを大切にし、よりよい社会のため、
ステークホルダーの皆様と一緒に会社を成長させて参ります。

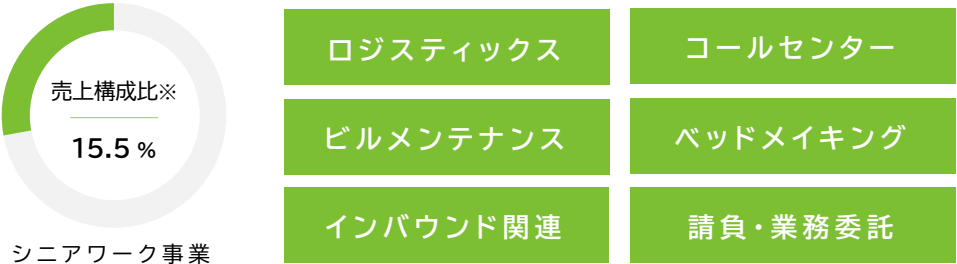
エッセンシャルワーカー派遣業界トップクラスの実績（介護・看護）

日本では高齢化社会が進行しており、人材市場においては、労働人口の減少、介護市場での人手不足は大きな課題
「Career」は、2つの課題に人材サービスで応える **高齢化社会型人材サービス企業**

看護・介護・保育における有資格者と施設とのマッチング提案



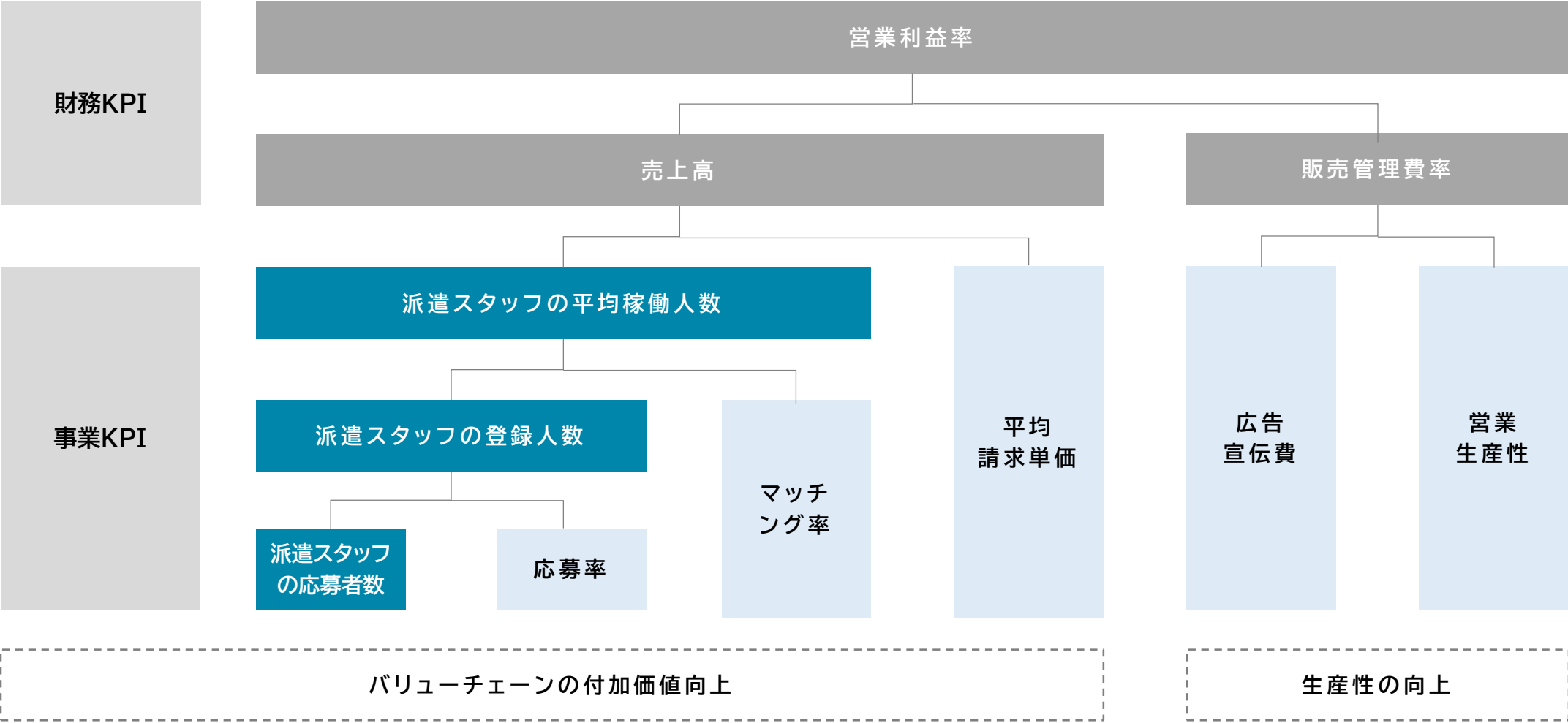
シニア特性や業務フロー分析に基づいたシニア就労の提案



※2024年9月期実績



Careerの人材派遣事業における財務KPIと事業KPIの構造

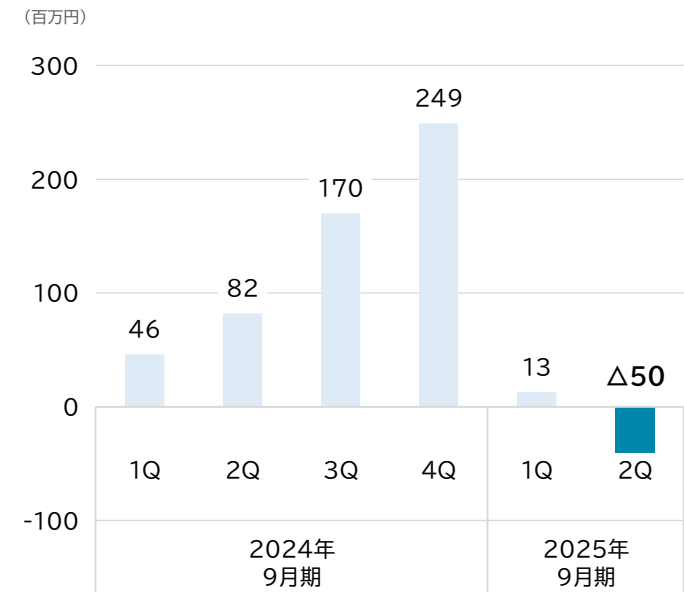
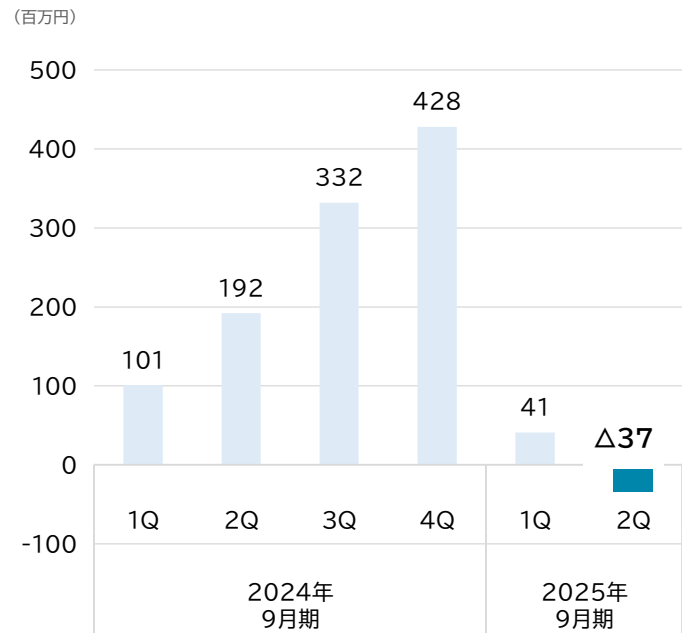
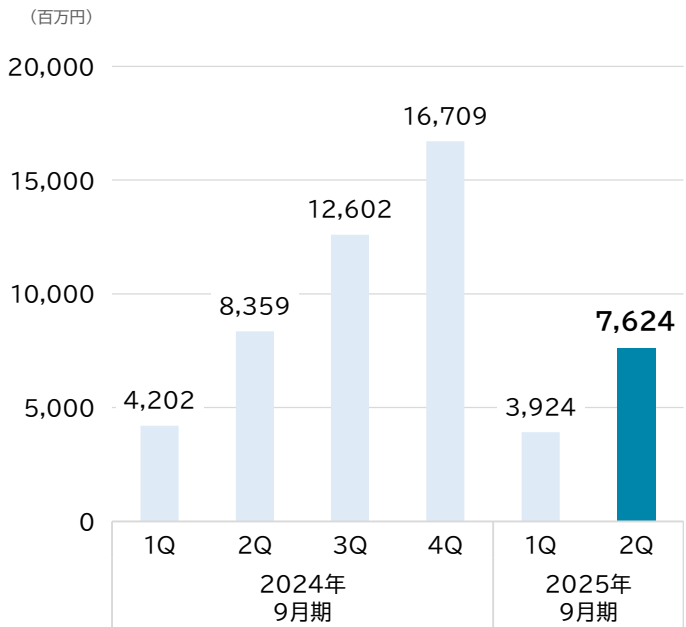


01		事業概要
02		2025年9月期第2四半期決算概要
03		市場環境及び成長戦略
04		Appendix

派遣スタッフ獲得に係る広告施策や投資コストの最適化を図る過程で減収減益。営業利益以降、一時的な赤字に

外部環境		市場	2025年問題に備えるために人材不足に対応すべく、優秀で高いスキルを持った派遣社員のニーズが高まることが引き続き見込まれる
		業績	- 前年同期比で減収減益。営業利益以降、赤字に - 派遣スタッフ獲得コストの上昇や戦略的な投資コストの負担などで、一時的に利益率を押し下げる
		事業	経済産業省のリスクリングの補助金申請が認定・入金されており、引き続き計画通りに進行中
		全社	- シニアワーク事業の規模を一定維持しつつ、シニアケア事業及びその周辺領域に経営資源を集中させ、さらなる成長を目論む - 人材開発に係る各種施策が本格スタート、組織全体のパフォーマンスを向上させ、組織として競争力の強化を目指す
取り組みと実績			

前年同期比で減収減益。介護業界における派遣スタッフの獲得コスト増などの影響により営業利益以降、赤字に



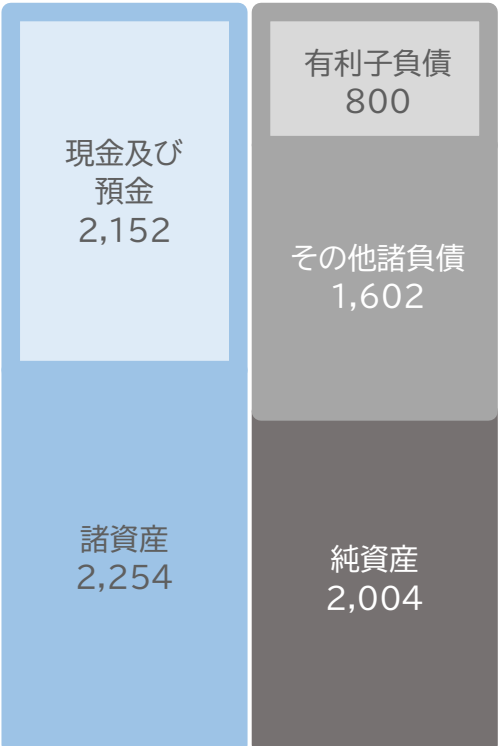
※Year over Yearの略で前年同期比

シニアワーク事業の減収傾向は変わらず、シニアケア事業においては派遣スタッフ獲得に係る広告宣伝費が重荷に

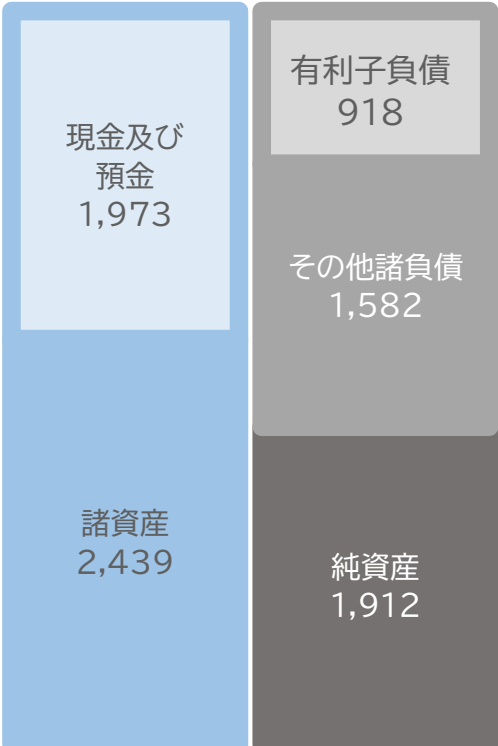
	2024年9月期	2025年9月期			
	2Q実績	2Q実績	前期比	通期業績予想 (2025/2/14公表)	進捗率
売上高	8,359	7,624	91.2%	18,500	41.2%
シニアケア事業	6,969	6,443	92.4%	—	—
シニアワーク事業	1,389	1,181	85.0%	—	—
営業利益	192	△37	—	560	—
経常利益	172	△43	—	530	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	82	△50	—	278	—
1株当たり当期純利益	9.75円	△5.91円	—	32.68円	—

自己資本比率は**42.3%**と引き続き安全水準

2024年9月期
自己資本比率 44.7%



2025年9月期2Q
自己資本比率 **42.3%**

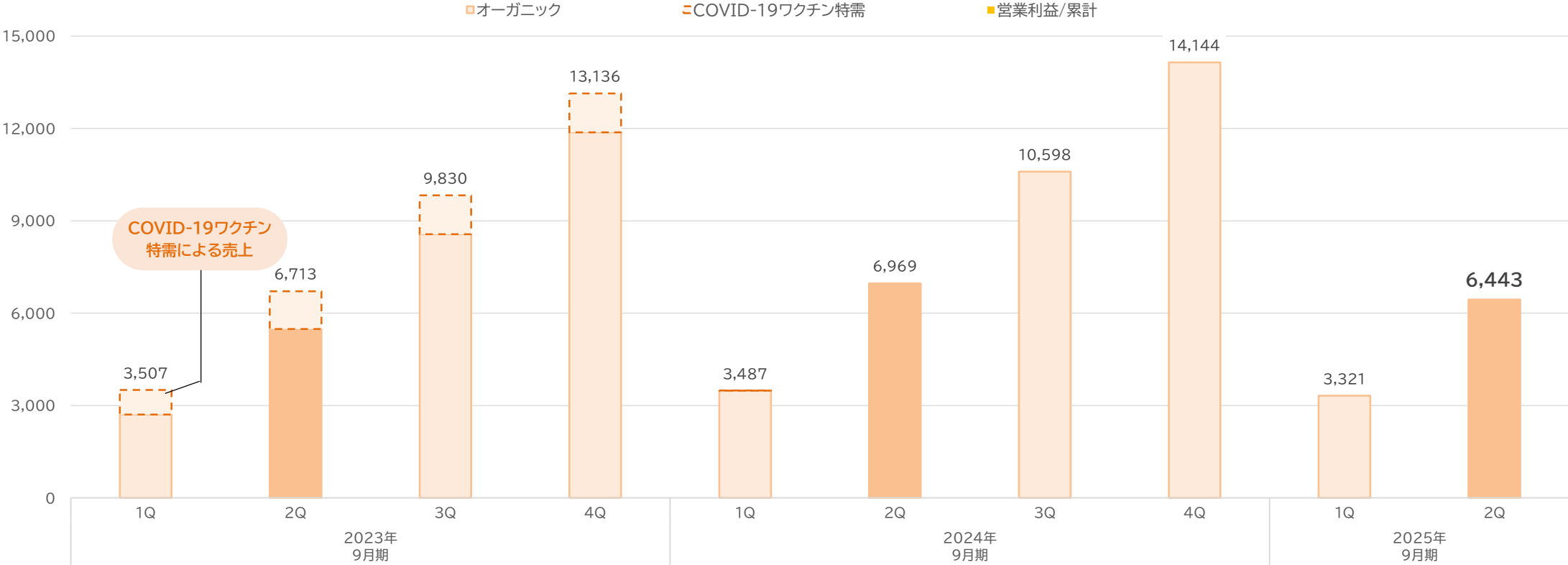


- ✓ 自己資本比率 **2.4** pt減少も安全水準
- ✓ Net Cash(現金及び預金-有利子負債)はポジティブ
- ✓ 現金及び預金 **△179** 百万円は、派遣スタッフ等の社会保険料の支払いの月ズレが要因

2025年9月期2Q 売上高:6,443百万円（前期実績6,969百万円:前期比92.4%）

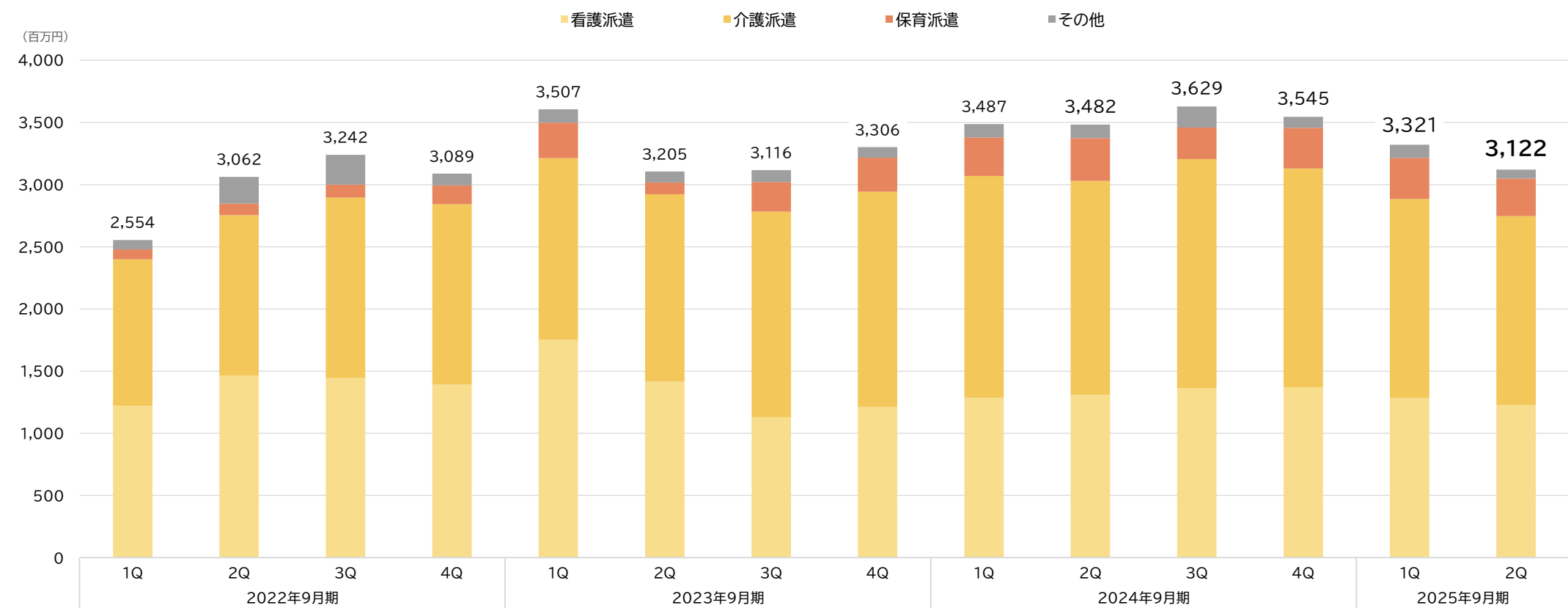
介護報酬改定による訪問介護事業所の基本報酬引き下げの影響から、価格転嫁要請の厳しい状況は継続

売上高



看護派遣事業は増減率(対2Q)▲6.2%、保育派遣事業は増減率(対2Q)▲11.9%

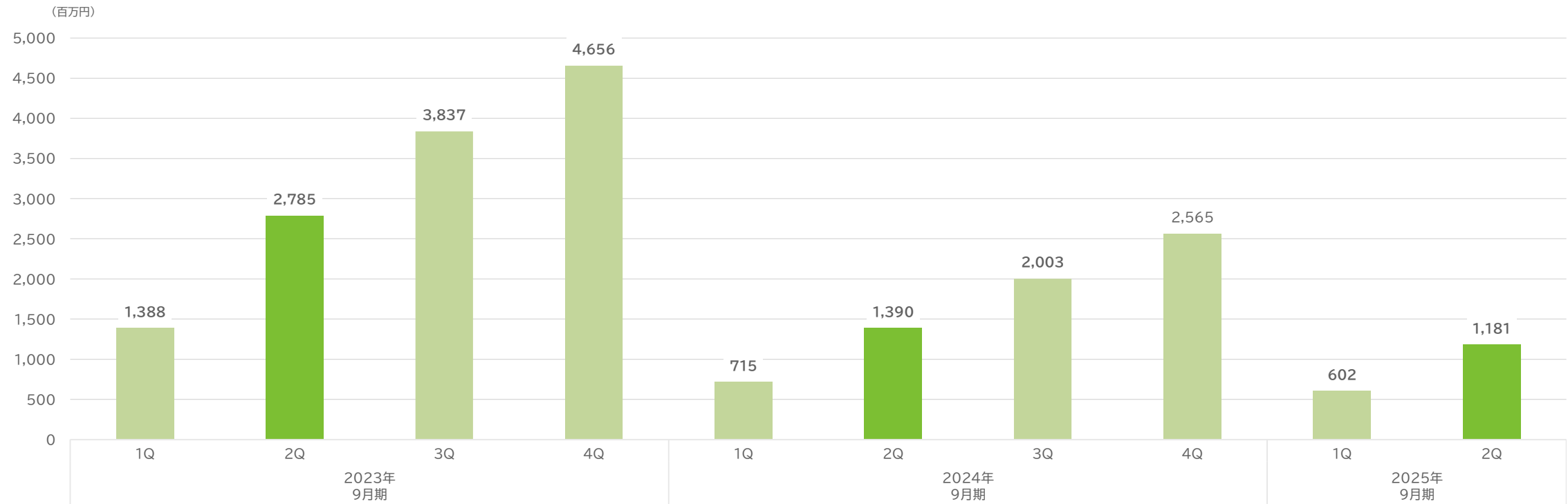
看護派遣事業の需要は引き続き根強いが、売上高は前年同期比で減少。広告施策の効果的な運用で下期は上積みを見込む
「保育の2025年問題」の影響が懸念される



2025年9月期2Q 売上高:1,181百万円（前期実績1,389百万円:前期比85.0%）

主要売上の国内のコールセンターサービス市場規模は減少傾向
単価交渉を行うことにより収益性を向上させつつ、売上高の一定維持を図る

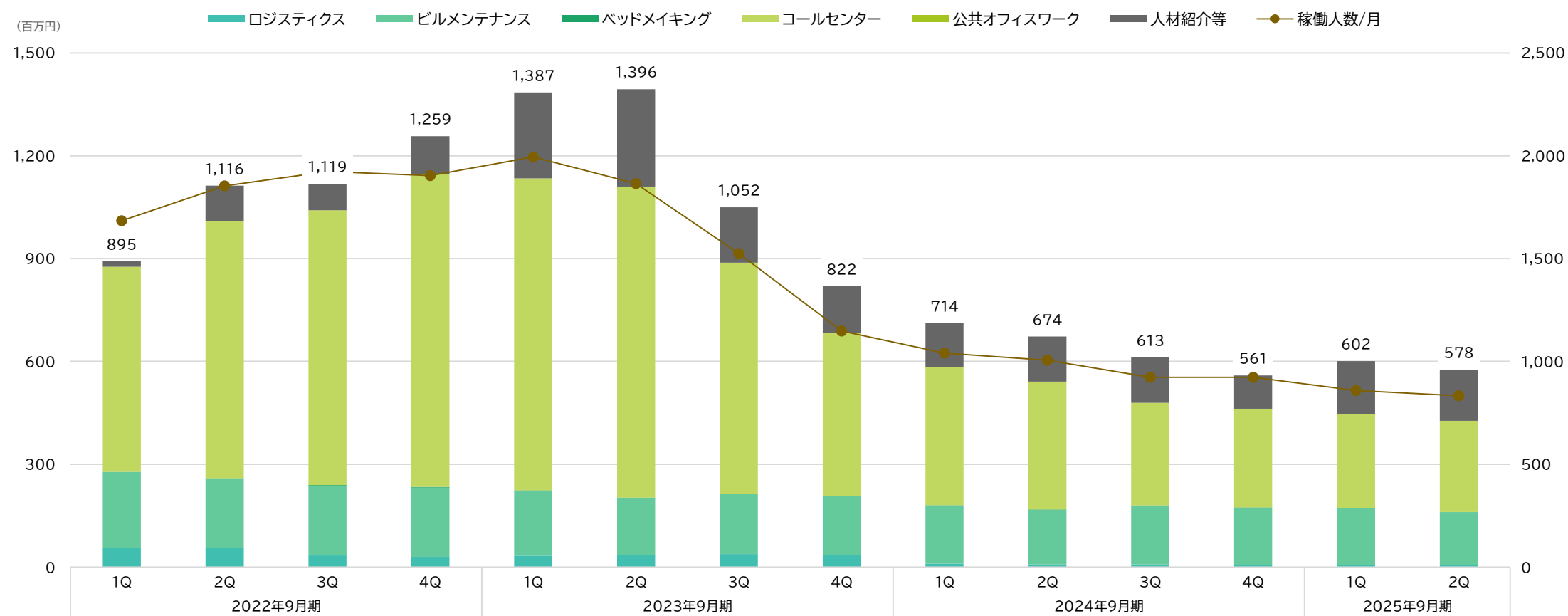
売上高



※出展：株式会社矢野経済研究所「コールセンターサービス市場/コンタクトセンターソリューション市場の調査を実施（2024年）」

コールセンターの新規案件獲得に苦戦

主力のコールセンターの売上高の増減率(対2Q)が▲28.7%

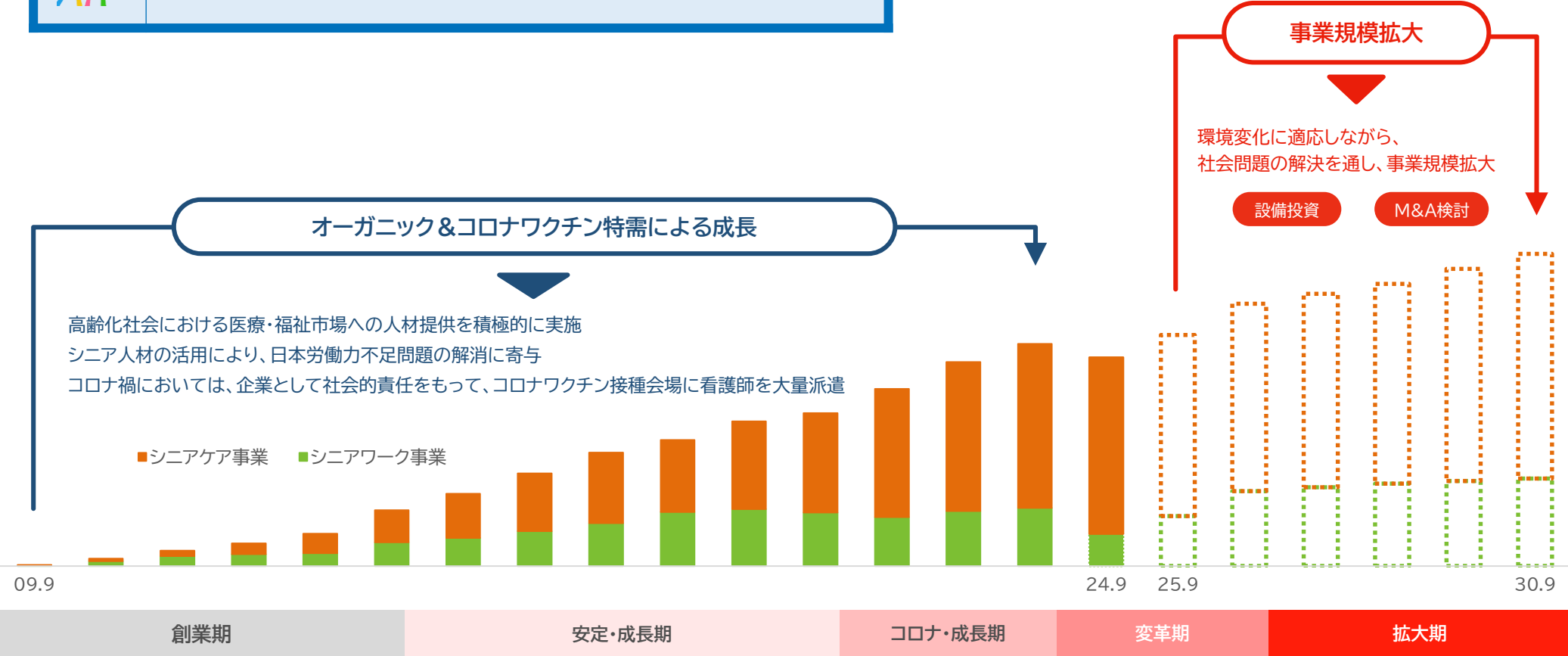


01		事業概要
02		2025年9月期第1四半期決算概要
03		市場環境及び成長戦略
04		Appendix

オーガニックをベースに、挑戦を繰り返すことで新たなストックサービスを拡充させ、成長し続ける

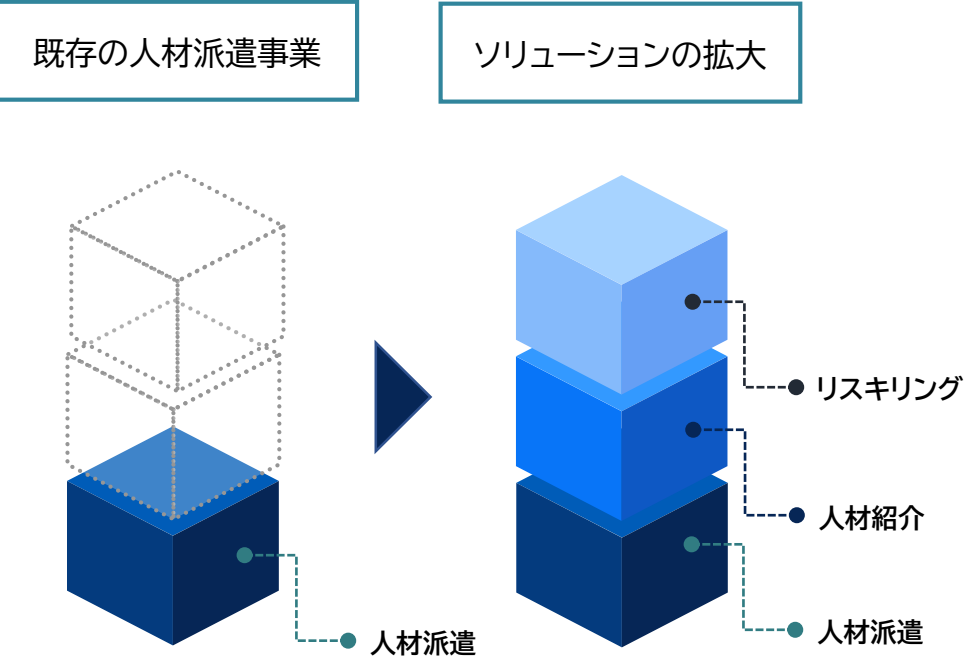


ダイバーシティ経営の更なる加速に貢献する企業へ

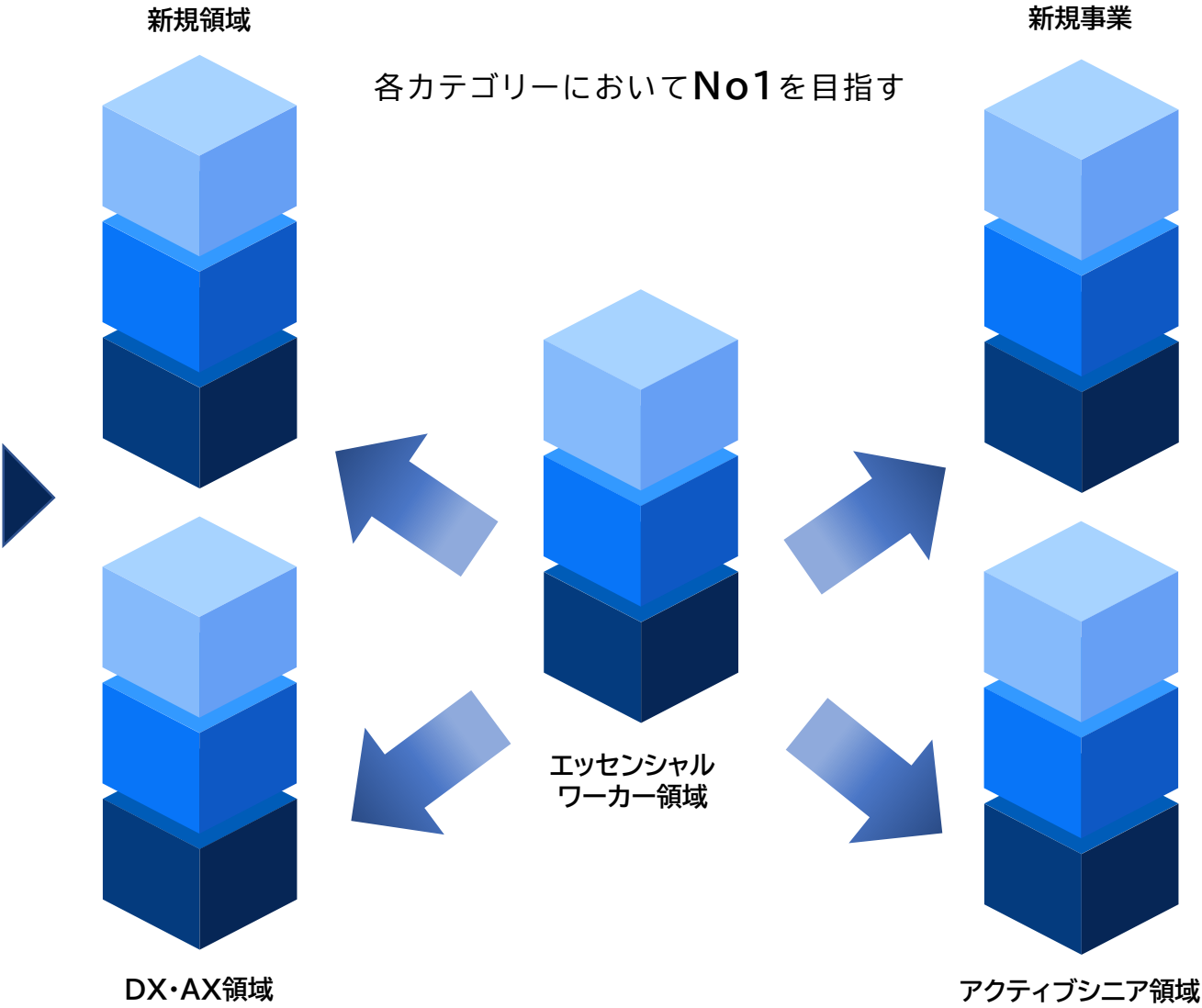


既存人材事業のスケールを推進するとともに、新規事業を確実に伸長

自社の強みである介護・看護領域をスケールアップ

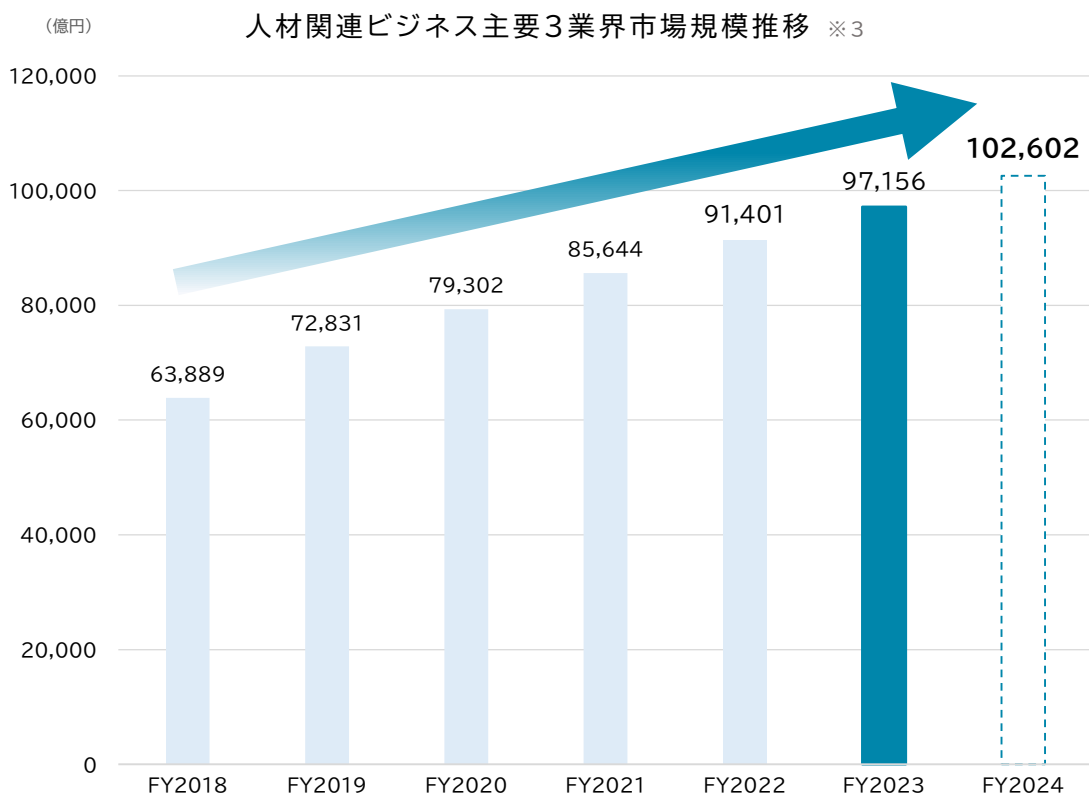


主軸となる人材派遣だけでなく、人材紹介の提供も
拡大させ、領域を広げていくことでシェア獲得を図る

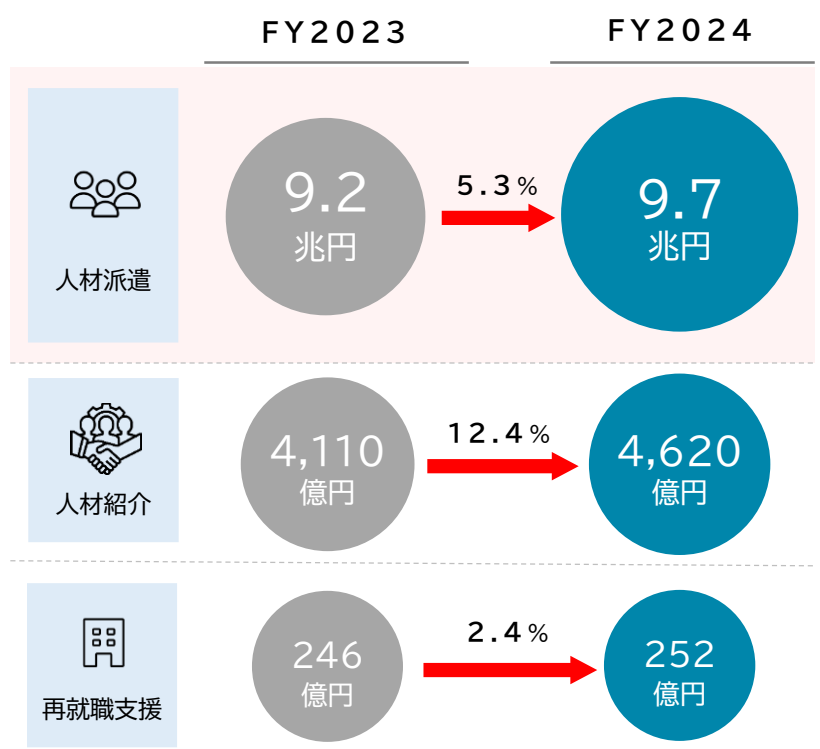


引き続きサービス需要が高まっている人材派遣業とホワイトカラー職種の人材紹介業が牽引することが予想される

FY2024の人材関連ビジネス(主要3業界※2)の市場規模は、約**9.7兆円**。増減率+**6.3%**
特に人材派遣業は、派遣スタッフ賃上げに向けた派遣料金の値上げも進むことから、市場規模は拡大を続けていくことを想定



人材サービスの規模は圧倒的に**人材派遣市場**が**最大**



※1 出展：株式会社矢野経済研究所「2024年版 人材ビジネスの現状と展望」
※2 オフィスワークを中心とした人材派遣事業者、ホワイトカラー職種の人材紹介事業者、再就職支援事業者の3業界
※3 事業者売上高ベース

深刻な人手不足の解消の対応策

2030年、 人手不足は**644**万人に広がる

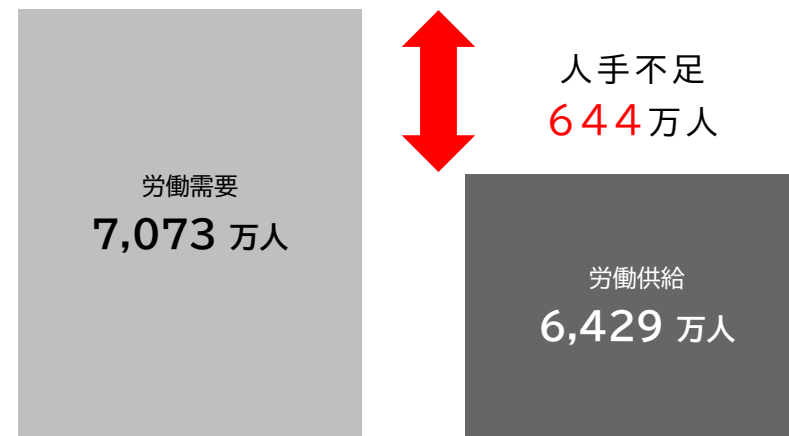
直近では「2024年問題」※1「2025年問題」※2が控えており、人材確保が、今まで以上に企業にとって最重要課題となっている

644万人の人手不足を埋めるための労働供給方法

- ・ アクティブシニアの労働力の増加
- ・ 女性の労働力を増加
- ・ 外国人の労働力の増加

キャリアの強み＝アクティブシニア領域

2030年予想



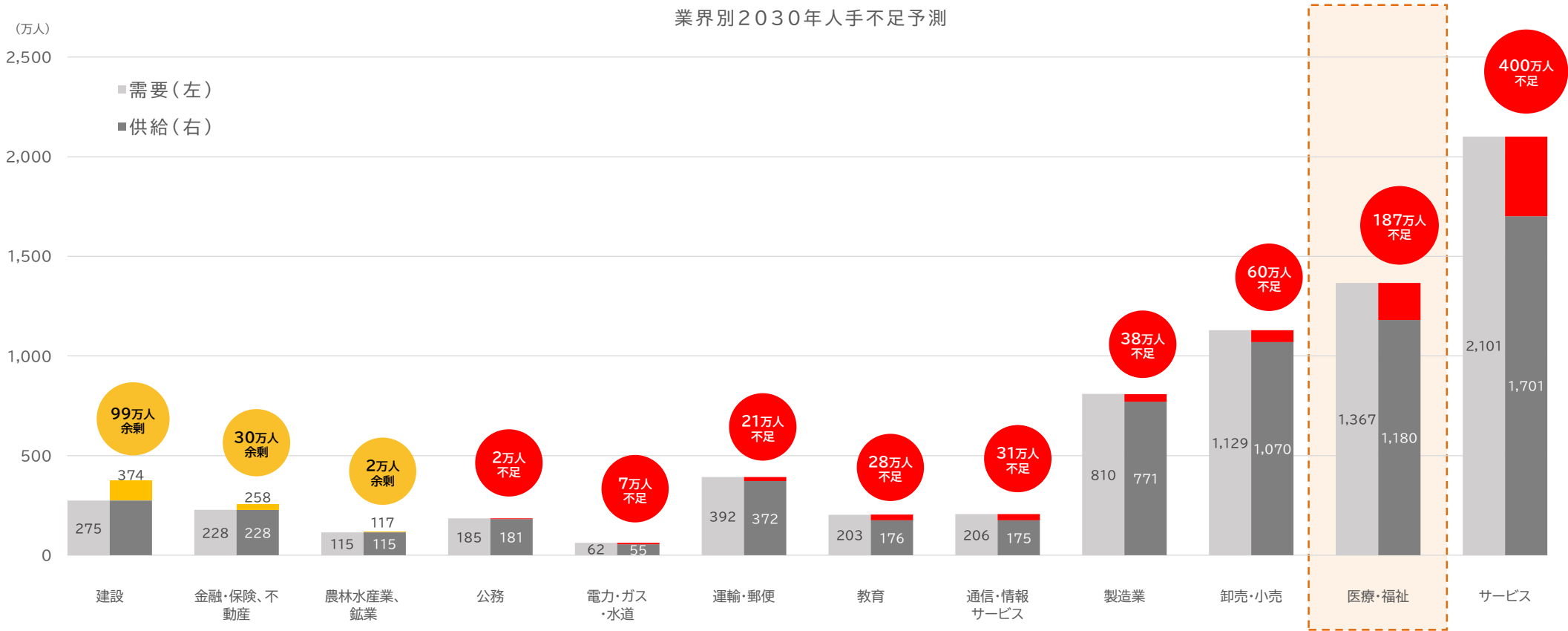
※1 2024年4月1日以降、建設、運輸、医療に対して例外的に認められていた時間外労働の上限規制の猶予が終了することから発生する諸問題

※2 日本の人口の年齢別比率が劇的に変化して「超高齢化社会」となり、社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響を与えることが予想されること

※3 出展：パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

現在日本では人材関連の需要と供給のバランスが大きく崩れている

サービス業は離職率が高いこともあり、約400万人と大きな人手不足が見込まれる
当社のシニアケア事業における領域である医療・福祉も、サービス業に次いで人手不足に苦しみ、約187万人にのぼる



※1 出展：出展：パーソル総合研究所×中央大学「労働市場の未来推計 2030」

リスキリング※1を通して、医療・福祉の人手不足という社会問題を解決



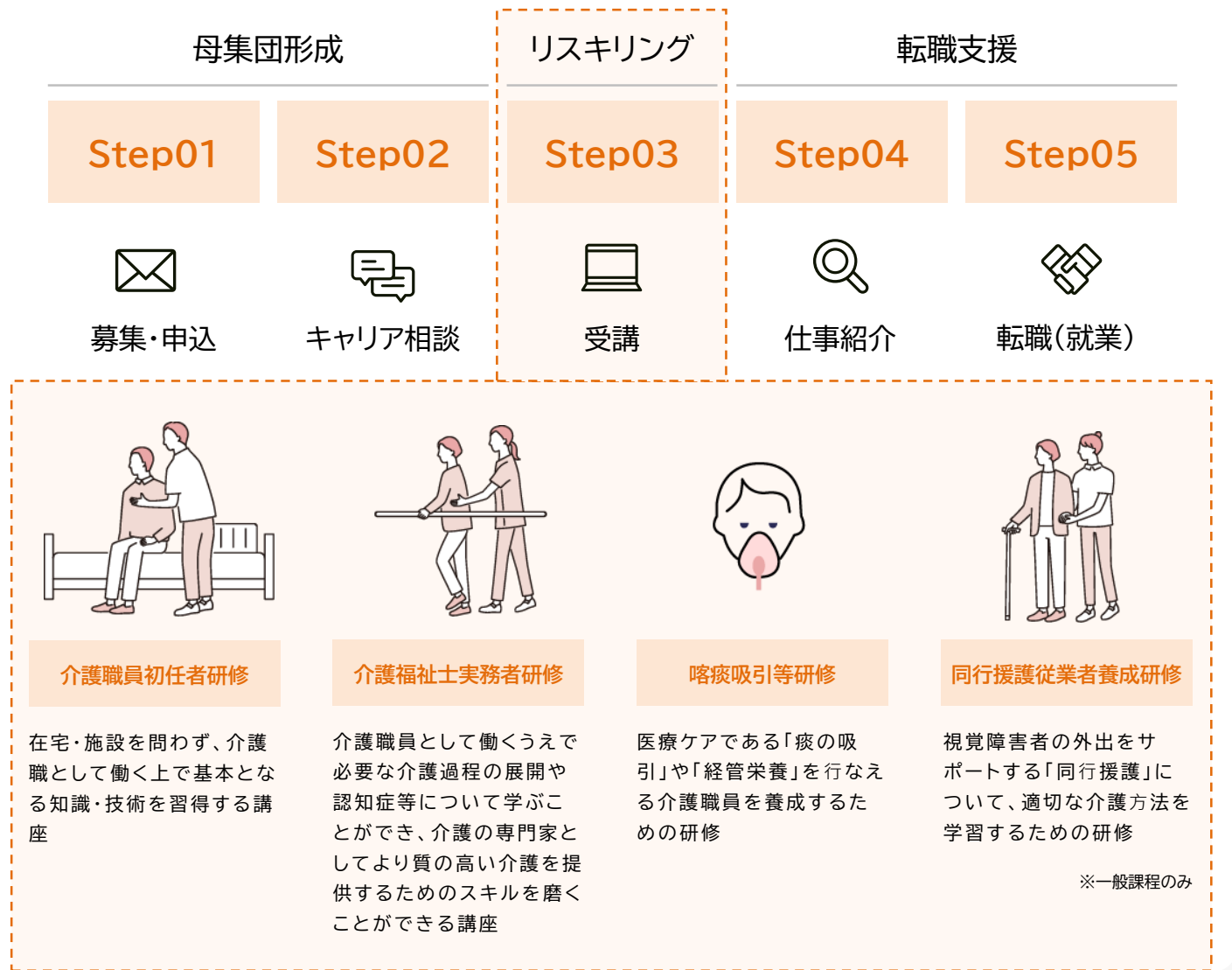
キャリア相談、リスキリング、
転職まで一貫してサポート

介護職に特化した全国最大規模の
資格取得・転職支援サービス



受講料の**最大全額**を
受講者に還元※2

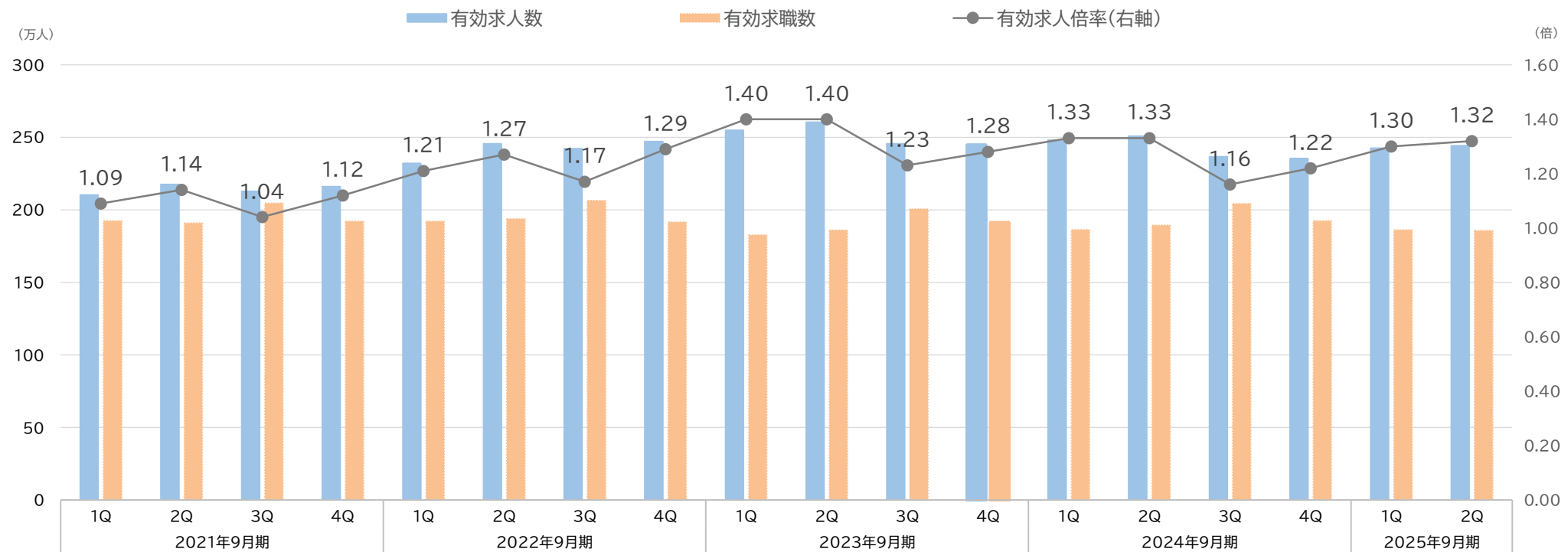
※1 社会環境や働く環境の変化にあわせて今後、仕事に必要とされるスキルを習得する行為
※2 講座終了発行後50%キャッシュバック(※講座の受講費用の1/2相当額(上限40万円))
 ㈱キャリア経由で転職後、1年間継続的に就業している方20%キャッシュバック
 (※追加的に講座の受講費用の1/5相当額(上限16万円))
 上記を含め、指定の条件を満たした方、残り全額を㈱キャリアからキャッシュバック



- 01 | 事業概要
- 02 | 2025年9月期第1四半期決算概要
- 03 | 市場環境及び成長戦略
- 04 | Appendix**

2025年1月～3月の3カ月平均の有効求人倍率は1.32倍で、直近3カ月平均は0.2ポイント増加

有効求人倍率は直近3カ月平均は上がっているものの、有効求人数は伸び悩んでおり、企業の人手不足感は強いものの、原材料価格の上昇などのコスト増で求人を控える動きがあることも想定される



※1 総務省統計局「労働力調査」を元に株式会社キャリアにて作成
※2 厚生労働省「労働者派遣事業報告書」を元に株式会社キャリアにて作成

将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

株式会社キャリア IR担当

E - m a i l

ir@careergift.co.jp

I R サイト

<https://www.careergift.co.jp/ir/>